

## 第 7 章 計画の推進と評価

## 計画の推進体制

計画を具体的に進めていくために、住民（親、地域住民） 専門家、関係機関、行政からなる次世代育成支援対策協議会を本市の次世代育成支援行動の意思決定機関と位置づけ、協議会を中核に各種行動支援を行っていきます。また、協議会の運営は住民主体となるようにし、住民参加の窓口として協議会を位置づけます。

具体的な支援行動は

- ・親を中心とした活動チーム「親グループ」
  - ・サポートをする関係機関、専門家、住民団体、個人を中心とした活動チーム「サポートグループ」
  - ・行政の事業を協議し展開する「プロジェクトチーム」
- の3つの活動チームを中心に、地域での活動を展開していきます。

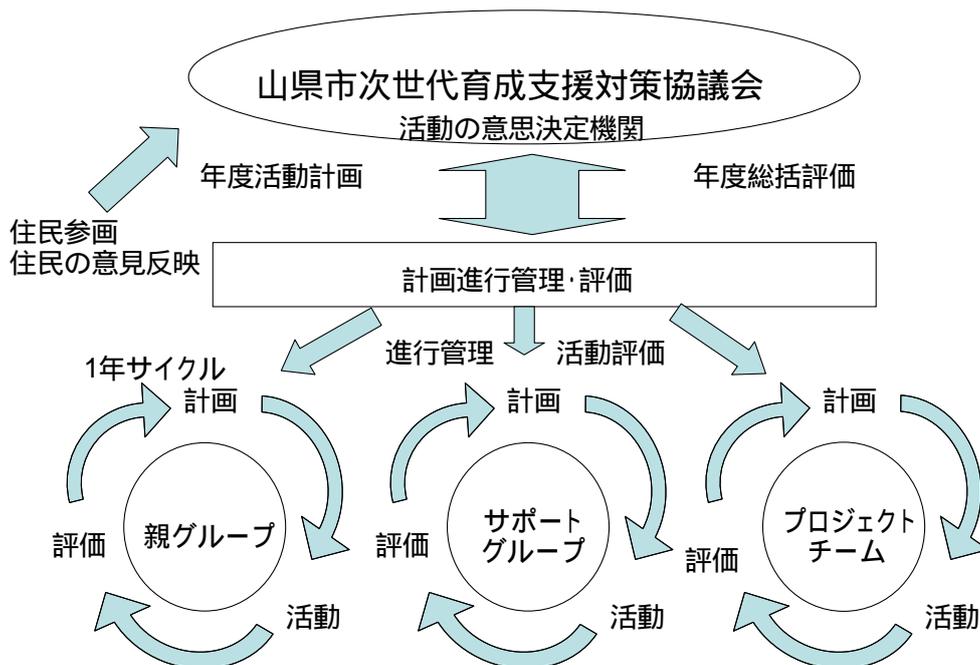
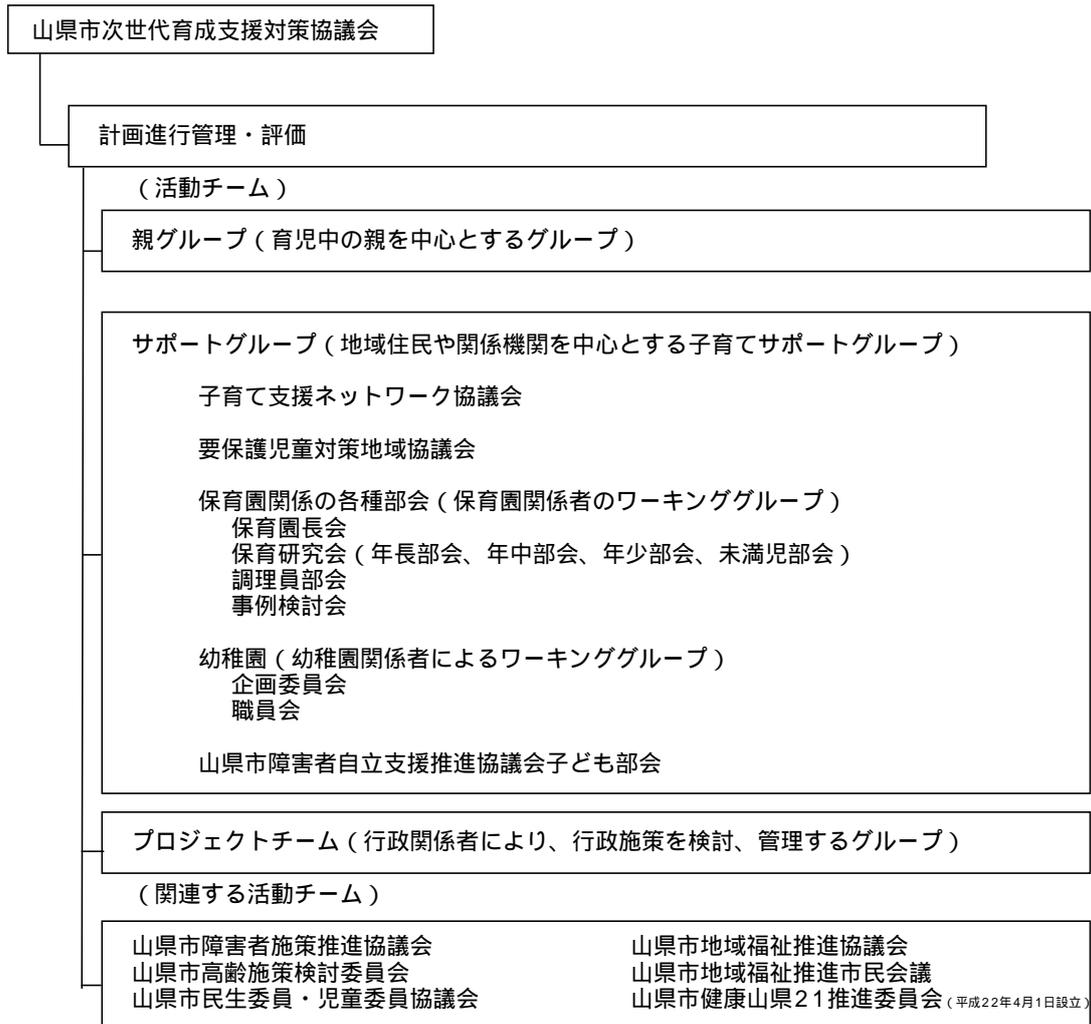
各活動チームには、必要に応じて特別チームを設置します。

山県市障害者施策推進協議会、山県市高齢施策検討委員会、山県市民生委員・児童委員協議会、山県市地域福祉推進協議会、山県市地域福祉推進市民会議、山県市健康山県 21 推進委員会も本計画と関連を持つため、連携をとっていきます。

各活動チームは、年度ごとに活動の方針・目標を決定し、活動を実行します。年度末には、各活動チームはおのこの活動内容や活動の達成度を評価して、次年度の活動に活かしていきます。

なお、次世代育成支援について、広報、CCY、山県市ホームページ等による啓発・周知を行っていきます。

## 計画の推進体制



## 計画の評価

本計画の最終年に、対策協議会により計画の遂行状況を総合的に評価します。

### 評価内容

本計画の成果として最終的に評価すべき項目は、以下のとおりです。

- 親同士の交流が活性化されたか
- 親を育てるという視点でサポートできたか
- 地域でのサポート体制は充実したか
- 必要な制度・システムは作られたか
- 関係機関の連携は充実したか
- ～ の成果として、子育てに対する満足感、充実感が向上したか

評価は進行管理状況、サービス供給状況などによびますので、本計画では具体的に

- ・ 行政サービス提供に関する評価指標
- ・ 計画推進のプロセスに関する評価指標
- ・ 計画の達成成果に関する評価指標

の3段階の評価を実施します。

## 行政サービス提供に関する評価指標

本計画では行政サービスについて、目標量を定め評価を行います。

また、必要に応じてこれ以外のサービスについても目標量を設定し評価を行います。

さらに、数値により目標量を定めることが困難なサービスについても、実施状況の質的な評価を行うことにより、計画最終年度の平成26年度においては、本計画に基づいて実施したすべての行政サービスについて実施状況を評価します。

目標量の一覧は次ページのとおりです。



## 主な保育、保健、教育、子育て支援サービスの平成26年度目標量

事業	現状	平成26年度目標量	概要等
通常保育事業	10か所 (H21.12.1現在) 3歳未満 152人 3歳以上 551人 計 703人	3歳未満 170人 3歳以上 529人 計 699人	保護者が労働又は病気等により、家庭において保育することができない乳幼児・児童を保護者に代わって保育所で保育する。保育の質を確保しつつ、受け入れ体制を整え、待機児童ゼロを継続していく。
特定保育事業	未実施	1か所 3人	多様化する保護者の就労形態に対応するため、児童を一定程度継続的に保育する。保育の実施の対象とならない就学前児童で、1か月当たり概ね6.4時間以上保育する。
延長保育事業	10か所 7:30 ~ 19:00(H20年度) 利用 3か所 実利用数 27人	2か所 50人	保護者の就労形態の多様化に対応するため、通常の開所時間を超えて保育をする。10か所の保育所に対応可能。
夜間保育事業	未実施	0か所 0人	保護者の就労形態の多様化に対応するため、保育所において夜間に保育する。午後10時頃までの夜間保育を行う。夜間保育は、ほとんどニーズ量がないため実施しない。
トワイライトステイ事業	1か所	1か所 2人	平日の夜間に保護者が仕事等により、不在となる家庭の子どもを預かり、生活指導、食事の提供する。
休日保育事業	未実施	1か所 20人	保育の実施対象となる就学前児童で、休日等においても保育に欠ける児童を保育所等で保育する。
病児・病後児保育事業	未実施	1か所 500日	病児対応型 回復期に至らない小学校3年生までの児童 病後児対応型 回復期にある小学校3年生までの児童
放課後児童健全育成事業	7か所 103人 (H21.12.1現在)	9か所 190人	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおむね10歳未満の児童(放課後児童)に対し、授業の終了後に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。
地域子育て支援拠点事業 (ひろば型、センター型、児童館型)	1か所(ひろば型)	1か所(ひろば型)	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実に図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。 《ひろば型》 子育て親子が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る常設の場を設ける。
一時預かり事業	10か所	10か所 2,400日	家庭において一時的に保育が困難となった乳幼児を保育所等で預かる。
ショートステイ事業	1か所	1か所	保護者等が疾病、出産、事故、冠婚葬祭、出張、育児疲れなどにより、子どもの養育が困難になる家庭の児童や緊急一時的に保護が必要な母子を一時的に養育・保護する。
ファミリーサポートセンター事業	1か所	1か所	育児の援助を受けたい利用会員の要望により、育児の援助を行うサポート会員が預かる。
子育て支援センター	1か所	1か所	育児の悩みや不安などに関する相談・支援及び研修を実施し、安心して子どもを産み健やかに育てることができる環境づくりの事業を推進する。
乳幼児健診 3・4か月児健診 10・11か月児健診 1歳6か月児健診 3歳児健診	受診率 95.0% 未受診者には、すべて電話・訪問する。	受診率 100.0%	乳幼児の健康状態や成長発達を確認するとともに、育児不安・負担に対してもサポートしていく。
妊婦一般健康診査	1人あたり 受診券利用率85%	1人あたり 受診券利用率90%	妊婦1人あたり14枚の受診券を交付し、経済的負担の軽減をすることにより、妊婦の一層の健康管理の充実を図る。

事業	現状	平成26年度目標量	概要等
乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	180人	全出生児	全ての乳幼児(出生児)のいる家庭を訪問し、子育てに関する情報提供、乳児及びその保護者の心身の状況・養育状況を把握、また養育等について相談に応じて助言・援助をする。
乳幼児訪問・未熟児訪問	延400件	全ての未熟児と必要とされる乳幼児を訪問	未熟児は全て訪問、その他訪問が必要とされる乳幼児を訪問する。 (健診未受診者、要経過観察者等)
各種相談 妊婦相談 乳幼児相談 育児電話相談 発達支援相談(すこやか相談) 家庭児童相談	妊婦 180人 年12回 延170人 年19回 延 50人 19件	全ての妊婦 年12回 すべての育児相談希望者 必要に応じて、必要な時期に相談 相談窓口の啓発 必要に応じて相談	乳幼児の養育・発達、育児の相談をうけ、育児不安等を解消する。 すべての育児に対する電話相談 ことばや発達等についての相談
発達支援教室(あそびの教室)	参加率 82.5%	参加率 90.0%	ことばや発達について心配のある1歳6か月から未就児に対して、あそびを通じてふれあうことの楽しさやコミュニケーションの広がり育てる。
6・7か月教室	対象数 199人 受信者数 2,152人 参加率 76.4%	参加率 90.0%	生後6~7か月児を対象に、身体計測、発達確認、子育てに関する集団指導、離乳食の進め方(試食を含む。)等の教室開催する。
乳幼児教室	参加率(申込者に対する) 高富地域 41% 伊自良地域 59% 美山地域 69%	参加率(登録者に対する) 高富地域 60% 伊自良地域 70% 美山地域 70%	子育て中の母親の育児不安やストレスを軽減するため、各地域の公民館で教室を開催する。 親子あそびや子育てについて学習する。
家庭教育支援 (保育園・小学校・中学校)	保育園 10学級、小学校 11学級 中学校 3学級 100%	全保育園・小中学校で実施 100%	各保育園・小学校・中学校において、家庭教育力向上のための講座・親子体験活動を実施する。 企画運営:保育園・小中学校の保護者
託児ボランティア育成 (ミルキーママボランティア)	登録者 69人 活動数 58人 稼働率 84%	稼働率 90%	子育て支援事業や乳幼児健診等における託児を充実するため、託児ボランティアの育成をするとともに資質向上を図る。
フッ化物洗口	市内全小中学校、年中・年長児 98.8%	市内全小中学校、年中・年長児 100.0%	虫歯予防のため、市内保育園・小学校・中学校で実施する。 子どもや保護者等にもフッ化物洗口の理解を深める。
性教育、喫煙・薬物乱用防止教育の実施	全小中学校で実施 講座:全3中学校、児童養護施設1施設	全小中学校、児童養護施設で実施	生きる教育、命を大切にすることを思春期の親子に実施する。
読み聞かせ	山県市図書館 子供 450人、大人 180人 みやまジョイフル倶楽部図書室 子供 191人、大人 146人	山県市図書館 子供 450人、大人 200人 みやまジョイフル倶楽部図書室 子供 200人、大人 150人	読み聞かせ教室(図書館・図書室)、簡単な工作活動(図書室)を実施する。 拠点:山県市図書館、みやまジョイフル倶楽部図書室
青少年国際交流	海外派遣 10人 外国人受入 14人	海外派遣 10人 外国人受入 14人	継続して青少年の海外派遣及び外国人受入(ホームステイ)の実施する。
教育相談員による相談	相談員3名 3校に配置 教室へ行けない児童生徒 H21年度 8名	全ての小中学校の問題を抱え相談が必要な全児童生徒へ実施する。	問題を抱え相談が必要な児童生徒の相談活動を実施する。また、教室へ行けない児童生徒への援助もする。
生活相談員による児童生徒への指導援助	生活相談員 4名設置 適応指導教室コスモス 高富・コスモス美山を設置 コスモス高富4名の児童生徒が通級 コスモス美山2名の児童生徒が通級	生活相談員設置 適応指導教室 コスモス高富・コスモス美山 児童生徒へ適切な指導援助する。	不登校の児童生徒または生徒指導上、集団での生活に適應できない児童生徒を適切に指導援助する。
やまがた子ども文化クラブ	開設:10教室、39講座 参加児童数:204人 小学生比12%	小学生比20%	小中学生の放課後及び休日の過ごし方を援助するため、各種体験活動の実施、市内外の子ども向け活動の情報提供をする。
総合型地域スポーツクラブ活動支援	平成20年度 会員数1,264人	会員数1,500人	幼年期から高齢者までスポーツの楽しさを伝え、スポーツによる新しい生活環境づくりを提案する。

## 計画推進のプロセスに関する評価指標

### 1. 活動チームの状況

活動チームの状況を毎年度評価します。

親グループの活動状況  
サポートグループの活動状況  
プロジェクトチームの活動状況

上記は、年度ごとに各グループで、自主的に活動の目標を設定し、その目標の達成度を毎年評価します。また、これらの活動の総合的な推進状況を毎年評価します。

### 2. 住民参加の状況

次世代育成支援対策協議会の取り組み状況  
住民団体、民間団体の取り組み状況

## 計画の達成成果に関する評価指標

計画が実施されることにより、期待される効果、達成される成果について評価を行います。この評価が計画の「めざす姿」「目標」「条件の改善」がどの程度実現できたかどうかの最終的な評価になります。

#### 親同士の交流が活性化されたか

評価方法を設定し、最終年度に評価を行います。

#### 親を育てるという視点でサポートできたか

関係機関が評価方法を設定し、最終年度に評価を行います。

#### 地域でのサポート体制は充実したか

評価方法を設定し、最終年度に評価を行います。

#### 必要な制度・システムは作られたか

この計画に基づいて、必要と考えられる制度・システムが作られ、市民に供給されたかどうかを評価します。主に行政活動を評価します。「主な保育、保健、教育、子育て支援サービスの平成26年度目標量」を参照してください。

#### 関係機関の連携は充実したか

最終年度に、関係機関の連携状況について調査を行い、評価します。

～ の成果として、子育てに対する満足感、充実感が向上したか

この評価は、計画が求めるべき成果を評価するものです。  
本計画では以下の1)～4)を評価します。

### 1) 満足度指標

「子育てが楽しい」と感じる親の割合をできるだけ100%に近づけます。

\* 「子育てはつらい」と感じる親の割合

平成20年度では就学前児童の親10%、小学校児童の親12%です(山県市次世代育成支援に関する意向調査)

これを平成26年度には5%以下とします。

### 2) 生活の質(QOL)指標

「ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある」親は、平成20年度では就学前児童の親81%、小学校児童の親80%です(山県市次世代育成支援に関する意向調査)

これを平成26年度にはいずれも90%以上とします。

「仕事と子育ての両立が大変」な親は平成20年度では就学前児童の親79%、小学校児童の親77%です(山県市次世代育成支援に関する意向調査)

これを平成26年度にはできるだけ減らします。

### 3) 統計・健康に関する指標

少子化の進行の鈍化

少子化の進行が鈍化したかを、人口、出生に関する指標で総合的に評価します。

婚姻率の上昇

平成26年度目標値を、現状より上昇させます。

規則的な生活ができている子どもの増加

平成26年度には規則的な生活をしている子どもの割合を90%以上にします。

孤立している母親の割合の減少

母親の社会参加への割合を増やします。

### 4) 生活環境・安全に関する指標

最終年度に、生活環境・安全についての改善度を評価します。